

# 令和2年 **7**月の大阪森林便り



## 今月の木の話

### なぜ高価なヒノキを見えない土台に使うのか

- \*木造住宅では多くの場合、土台にはヒノキを使っています。
- \*ヒノキには水湿に強く腐りにくいという長所があります。
- \*ヒノキに比べて水湿に弱く腐りやすいスギは、土台に使うのをさけます。材質が軟らかく加重に弱い点もあります。

(日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用)



### (1) 米松製材品 5.5%下落 東京地区

#### 2013年4月以来の安値

- \*米松製材品の流通価格が半年ぶりに下落。
- \*米松 KD 平角の東京地区問屋卸価格は、1か月前に比べ 5.5%下がり、2013年4月以来の安値に。
- \*集成平角の価格は、原料の値上がりで横ばいで推移。

(2020年6月6日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## (2) 合板、輸入減少に拍車

### 住宅着工低迷、産地で工場停止 国内で供給懸念の声

\*合板の輸入減少に拍車。

・日本の住宅着工が減り、需要が落ち込んでいるため。

\*今後も日本向け輸出が減少を続けると、国内の輸入合板が不足するとの見方も。

\*1~4月のマレーシアからの合板輸入量は計 283,229M3 と、前年同期比 2割減。

\*コンクリート型枠用合板は 9割が輸入。

\*マレーシアやインドネシアの合板メーカーは、最盛期に両国で 150社ほどありましたが、10社ほどに減りました。

(2020年6月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## (3) 合板、さらに値下がり 国産・輸入

### コロナで住宅需要弱く

\*国産針葉樹合板の流通価格が一段と下落。

・12ミリの卸価格は5月末より1%安く。

\*国産針葉樹合板は、今年3月に4年9か月ぶりに値下がり。

\*合板メーカーは価格維持のために減産を続けていますが、出荷も減ったため、5月末の在庫は4月末より3%増。

\*輸入コンクリート型枠用合板は、6月中旬に比べ1%安。

\*輸入構造用合板も1%安。

\*夏以降に在庫が減り、価格が底入れするとの見方も。

(2020年6月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

